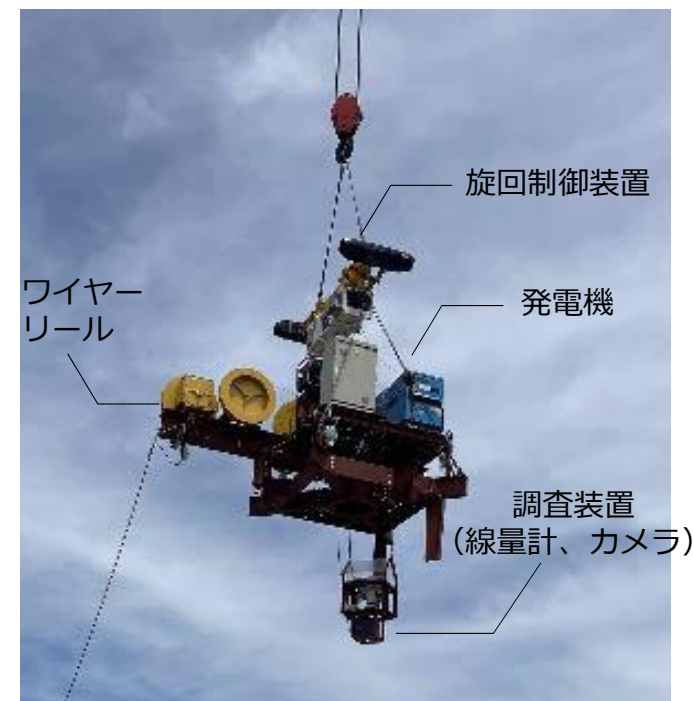
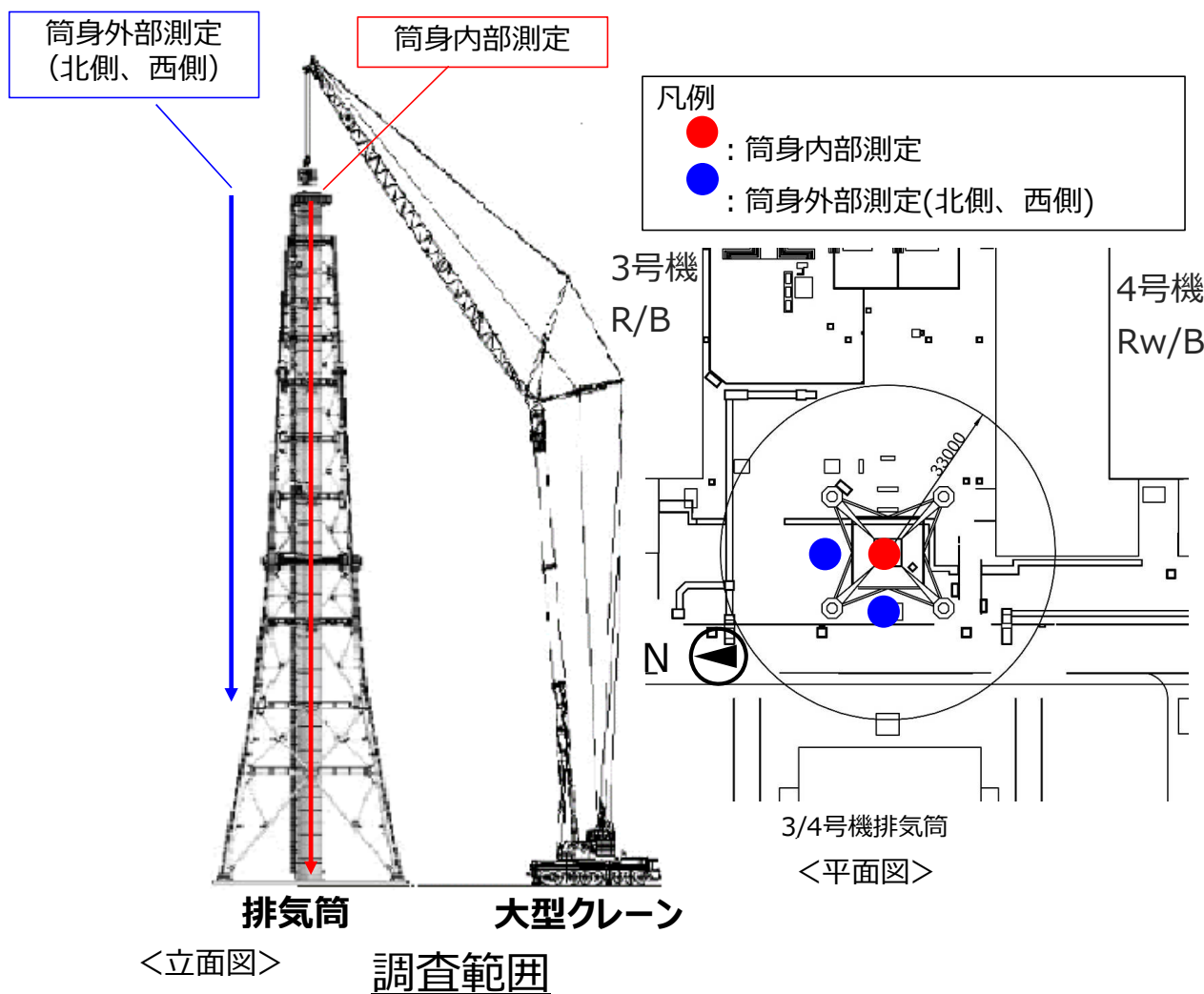


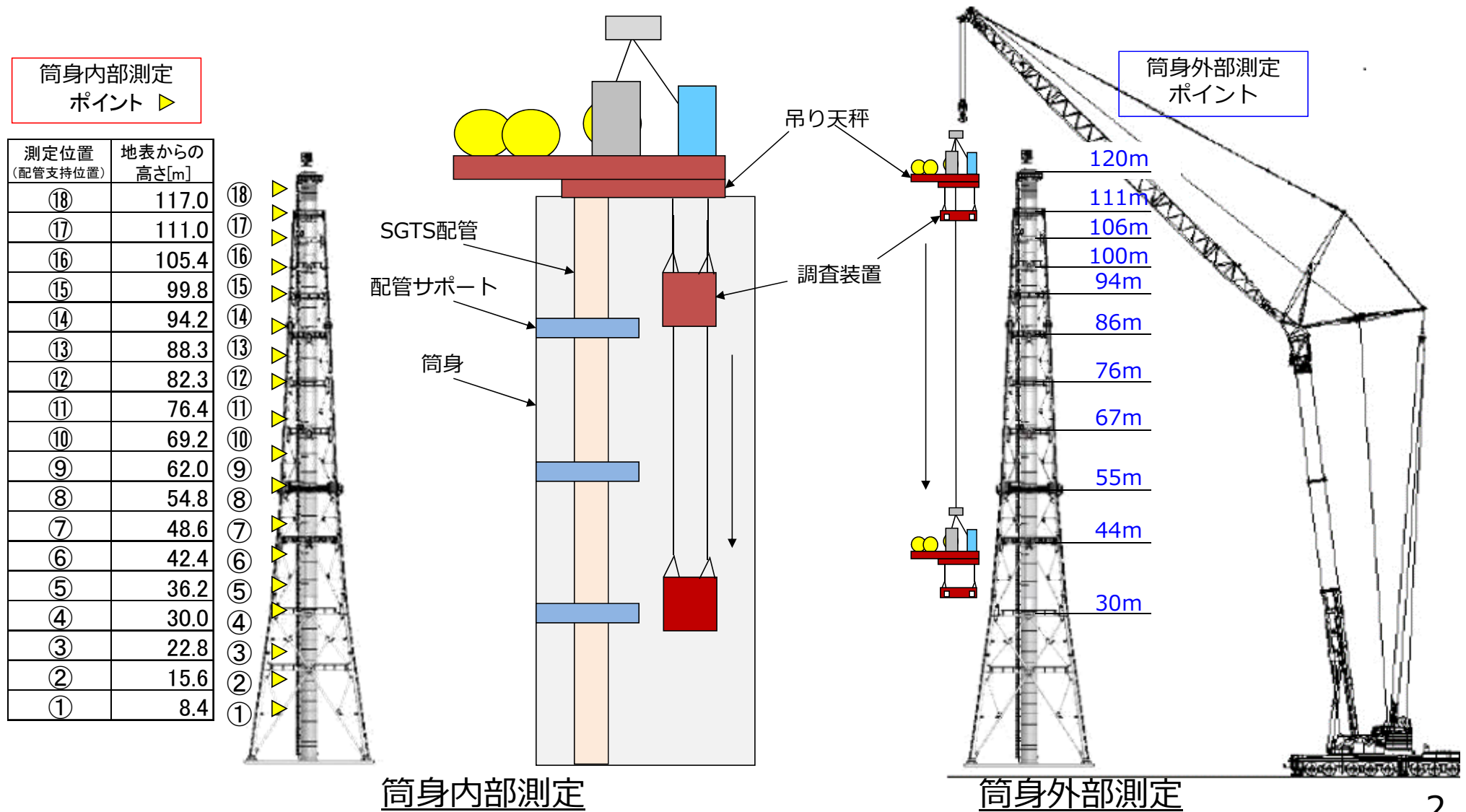
- 3号機燃料デブリ取り出しに向けた建屋外の環境改善（燃料デブリ取り出し設備等のための敷地確保）として、3/4号機排気筒解体を計画している。
- 排気筒解体検討に向け、2023年6月に筒身下部の線量測定を行った。<2023年7月27日までにお知らせ済み>
- 今回、解体工法検討に向けたデータ補完を目的に、線量計とカメラを具備した調査装置をクレーンにて吊り降ろし、排気筒の筒身内部および外部の線量測定及び筒身内部に敷設されているSGTS配管の支持位置の調査を行う。



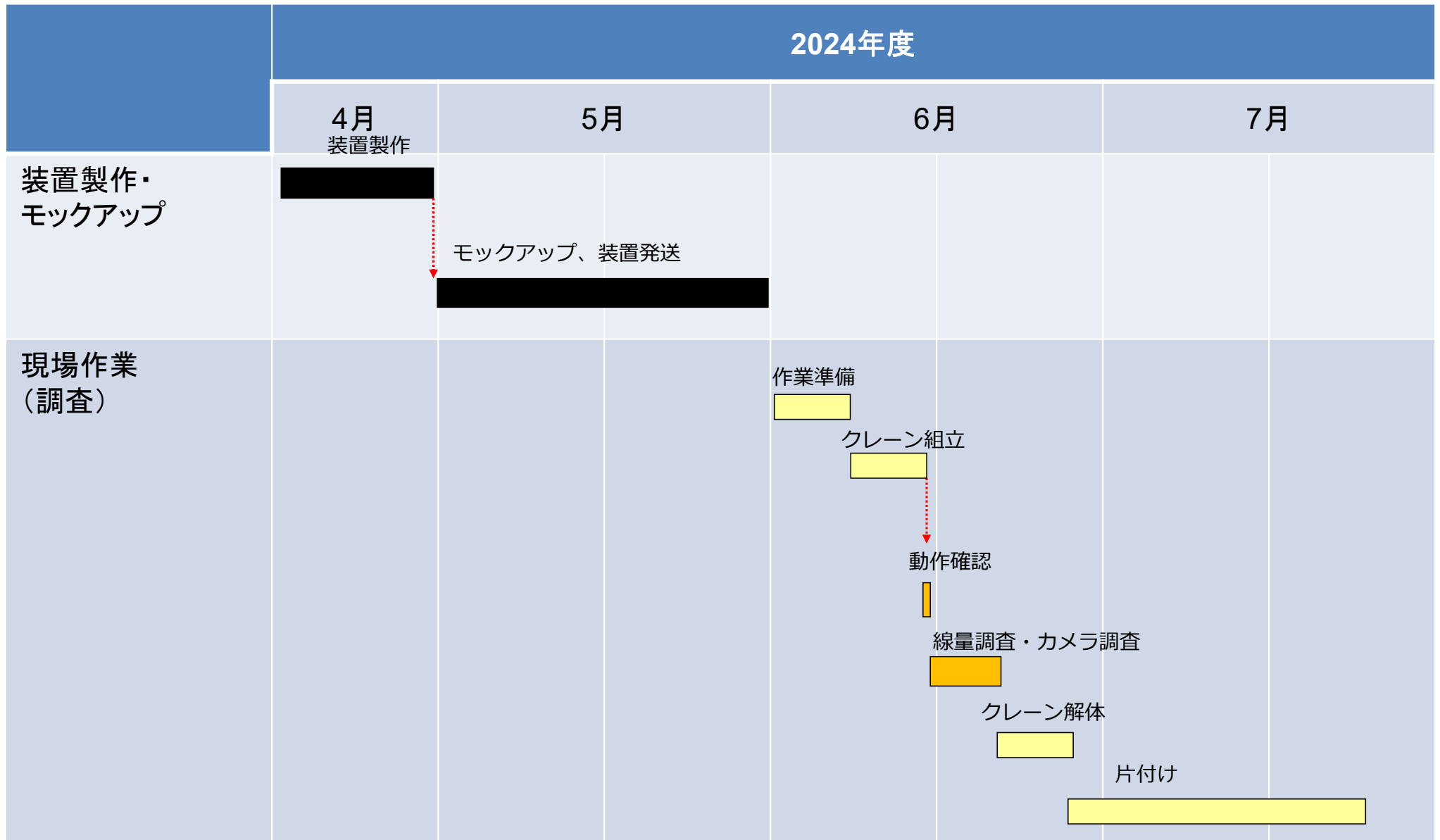
測定装置概要

1. 排気筒線量調査概要

- 筒身内部測定時は測定装置（吊り天秤）を筒身頂部に着座させ、ウィンチで測定部を上下させる。
- 筒身外部測定時は測定装置を直接クレーンワイヤーの出し入れで上下させる。

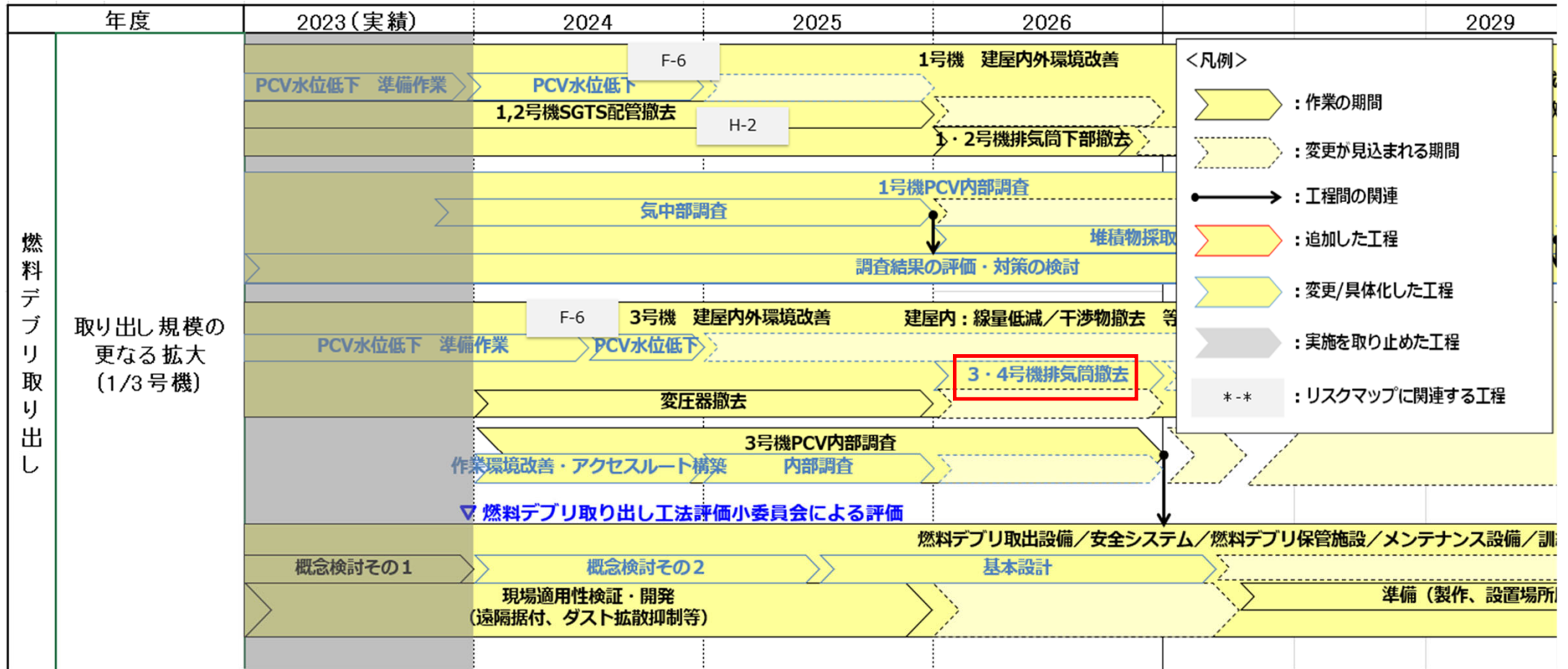


2. 3/4号機排気筒線量調査工程



気象条件により、工程は変更となる可能性あり

【参考】 廃炉中長期実行プラン2024（抜粋）

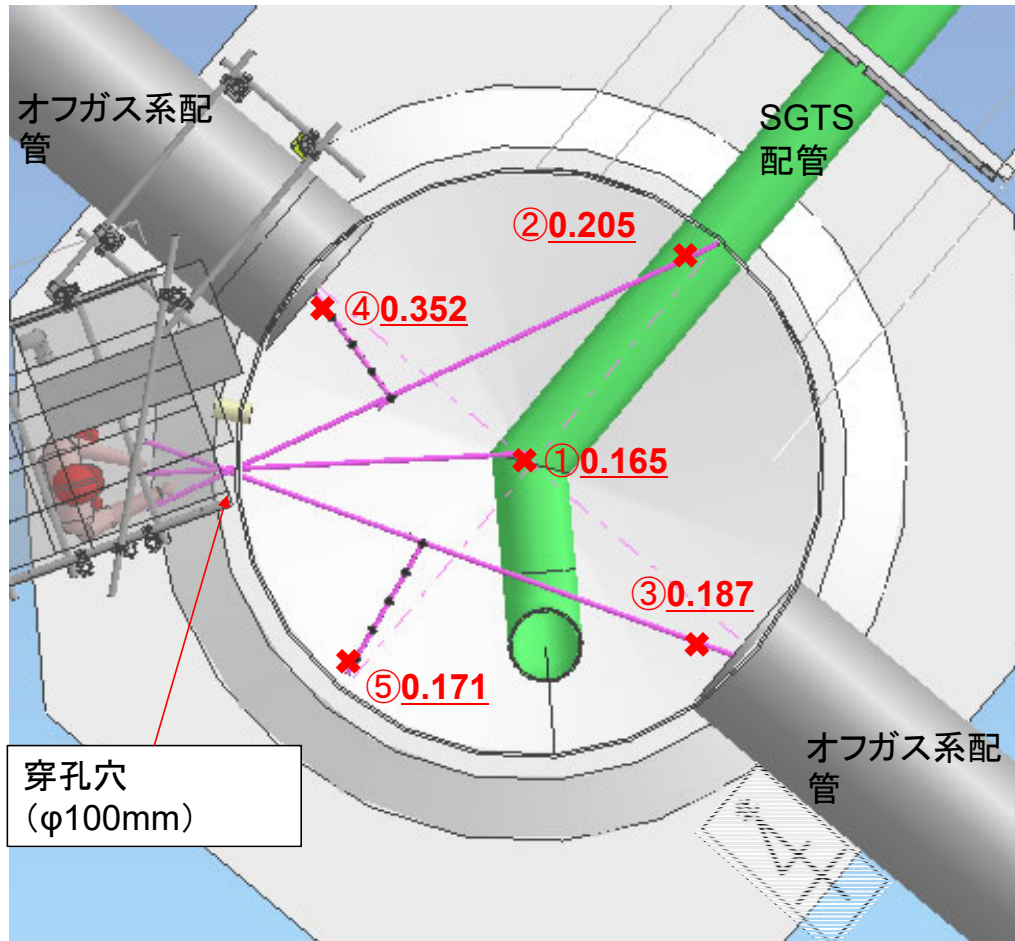


＜今回の調査の目的＞

- 2023年6月に筒身下部の線量測定を実施。
- 解体工法検討を進める過程で、排気筒筒身の外部・内部の線量の実測値を取得し、線量データの補完を行う。

＜線量測定結果＞

✖ : 線量測定箇所



再掲：第116回廃炉・汚染水・処理水対策チーム会合事務局
会議（2023年7月27日）資料一部抜粋

- 2023年6月に実施した筒身内部の線量測定において、約0.165～0.352mSv/h（5箇所）という結果であった。

①筒身中央	0.165mSv/h
②筒身内側面から200mm	0.205mSv/h
③筒身内側面から200mm	0.187mSv/h
④筒身内側面から200mm	0.352mSv/h
⑤筒身内側面から200mm	0.171mSv/h

・線量測定日：2023年6月14日

・測定器：水中サーベイメータ(GMWS)